



ふれあい なのかいち



公民館長就任の挨拶

七日市場地区公民館長 三澤 祐司

今年度、前任の丸山好夫館長の後を受け、公民館長に就任しました三・一組の三澤です。昨年度は副公民館長として地域の皆さんのご協力により、無事一年間の活動を終えることができました。本年度は館長として微力ながら一年間の任務を務めてまいりたいと思います。

公民館及びそれに類する施設は、全国的に約一万六千館あると言われていきます。その数は図書館や博物館などの文化施設よりはるかに多く、海外に相当施設はあまりなく、日本独特の施設のようなのです。それだけ日本及び地域にとつて意味があるように思います。お隣の方の名前も知らないなど、地域住民の人間関係が希薄になる昨今、「公民館」という施設や活動の果たす役割は大きいと思います。

七日市場地区の公民館活動には、「文化部」「体育部」「生活産業部」「女性部」の4つの専門部があります。どの部の活動も地域の皆さんの文化・健康・生活の向上や親睦などを目的としており、今年度もたくさんの方の行事を計画しております。是非多くの方に参加していただき、少しでも地域が活性化し地域の皆さんの繋がりがや交流の幅が広がればと願います。

さて、今年度新たに副公民館長として小笠原英行さんが就任しましたのでご紹介します。



副公民館長
小笠原英行さん

「代表区長として」

代表区長 平林 敬史

この四月から代表区長になりました七・四組の平林です。

一年目に、農政・防犯担当区長をさせていただきましたが、代表区長の奮闘ぶりを日頃から見させて頂き、その職務の多忙さと重大さが嫌という程わかりました。果たして私にこの職務ができるのかと不安で一杯ですが、七日市場が少しでも安心で住み良い地域であるよう、上野区長、橋澤区表、中條区長と一丸となり、この重責を全うしようという気持ちで新たにしています。

さて、最近テレビを見ていても「地震発生のニュース」が目飛び込んでくるが多くなりました。日本列島の至る所で地震が発生し、甚大な被害が出ているのを見て、ここ安曇野市でもいつ地震が起きてもおかしくないと改めて危機感を強く感じています。この七日市場区においては、例年、十一月に防災訓練を実施しております。一人でも多くの方々が参加して頂きお互いの意思確認、啓発等を図っていきたいと思っています。

各ご家庭におきましても、是非、防災用品等を準備することは勿論いざという時に「支え合い、助け合い」の気持ちが発揮できるよう、常日頃から近所の方々の皆様とのコミュニケーションを深めてほしいと願っております。

あらためまして、区民皆様の一層のご理解とご協力の程よろしくお願い致します。



「文化部長になって」

文化部長 林 文子



一月の最後の部会、一緒にいた息子がクジを引いて、部長に当たりびっくり。そしていざ引き継いでみたら、部長の仕事の多さにまたびっくり。考えてみると、敬老会と夏祭りの企画運営が大変じゃないはずはない。あらためて、部長としての責任の重さを感じました。

参加者が楽しかった、また参加したいと思える行事にしたいと思っています。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

副部長（会計）一・十一 井上 智裕
副部長（編集）四・二二 奥山 悟

「今期の役割に向けて」

体育部長 柴田 正文



この度、今期の地区館内での代表として、大役を務めさせて頂くことになりました。

地域の様々な行事を怪我や事故が無き様、微力ながら体育部員の皆さんと共に盛り上げ、コミュニケーションの輪が広がる役割として御役に立てればと考えます。

部の活動や行事運営に部員一同全力で務めてまいりますので、積極的に行事に参加していただけますよう御協力の程、宜しく御願致します。

副部長（会計）四・五 宮下 恵子
副部長（編集）一・七 牛越 克子

「女性学級に参加して」

二一・六 丸山 紀代

五月二十八日、女性学級があり、「太極拳」教室に参加しました。女性学級に参加するのは、久しぶりでしたが、先生方の指導の元、見よう見まねで、ゆったり全身を使いながら動き、日頃の運動不足も解消され、体が軽くなるのが分かる程でした。

あつと言う間の二時間で、とてもさわやかな気持ちになりました。日々、体を動かす事の大切さを改めて感じました。是非、また参加したいと思います。



太極拳教室（女性部）
【2017年5月28日】

「女性部長就任挨拶」

女性部長 市川 登美恵



今年度、女性部長を務めさせて頂くことになりました市川です。

今まで、子供の行事しかコミュニケーションを使用した事がない程、地域との交流がなかった私ですが、役員の方々、部員の方々と協力して活動を進めていきたいと思いません。

不慣れなため、至らない点もあるかと思いますが、イベント参加のご協力お願いします。

一年間、宜しくお願いいたします。

副部長（会計） 七・五 黒岩 愛
副部長（編集） 三・十 丹間 あゆみ

「生活産業部長就任挨拶」

生活産業部長 丸山 育子



今年度、生活産業部長を務めさせて頂くことになりました丸山です。

不慣れで不安ばかりですが、部員の皆様、地域の皆様にご協力をいただきながら、一年間務めて行きたいと思っております。よろしく願います。

生活産業部では今年も九月に「暮らしのセミナー」、十二月に「しめ縄講習会」の開催を予定しています。しめ縄講習会には毎年参加して下さる方もいらっしゃる、好評を得ています。

初めての方も楽しんでいただけますので、皆様の参加をお待ちしています。

副部長（会計） 五・三 逸見 麻紀
副部長（編集） 二・四 逸見 直則

「歴史を語る大太鼓」

祭りばやし保存会会長 三澤 鑛一

本年度の諏訪神社例祭もにぎやかに楽しく奉納する事が出来ました。そして長年の懸案だった祭りに欠かせない大太鼓牛革の両面張替えと胴の修理を氏子の皆様の意向を踏まえて行いました。

神が宿ると云われる長胴の内側には昭和三十三年、今から五十八年前に第三回の張替えがあったと記録され、さらに大太鼓の新調時期は、江戸時代であったと記録から推測されます。

歴史の重みを感じつつ地区の文化財として今後も大事に保存したいと思えます。



張替え後



張替え前

「七日市場地区敬老会」

文化部副部長 奥山 悟

六月十八日、文化部二大イベントの敬老会が、七日市場コミュニティセンターにて行われました。今年も四十名の方に御出席して頂き、落語や手品、宴会でのカラオケなどで、懇親を深めて頂けた事と思います。

休日のところ、朝から準備や運営まで、文化部員の方、それに携わった関係者の方々皆様の御協力があったからこそ、無事開催が出来ました。ありがとうございます。



敬老会（文化部）
【2017年6月18日】

「マレットゴルフ大会に参加して」

一・五 宮坂 鋭夫

深緑の中今回の大会は高松マレットゴルフ場にて行なわれ参加しました。アカシアの花が散って一面白い絨毯の上で和気あいあいの中楽しいひとときを過ごさせて頂きました。マレットは適度の運動と健康作りにも又起伏コースを読んで回る頭の体操にもなるし最適なスポーツだと思います。特に七日市場はマレット人口が少ないので大勢の方にマレットを勧めます。

役員の方の御尽力に感謝申し上げます。



マレットゴルフ大会（体育部）
【2017年6月4日】

「筋肉痛にはなりますが」

四・七 松山 香絵

最初は人数合わせでした。聞いた事も、見た事もないスポーツ『ワンバウンドふらぶるバレー』。なんとなく、バレーのよいうなものなんだろうなという感じでした。

が、しかしやってみるとなんと楽しい。すっかりはまってしまい、今回で三回目の参加となりました。普段はなかなか出せない大声も出せて、気持ちもスッキリです。しかも親睦を深める事もできる。より多くの人が参加できるといいなと思いました。



冬季スポーツ大会（体育部）
【2017年2月19日】

平成29年度 七日市場公民館 年間行事予定表

～～ みなさんお誘いあわせのうえ、ご参加ください！ ～～

5月・6月

5月28日 太極拳教室（女性部）

6月4日 マレットゴルフ大会（体育部）

6月18日 敬老会（文化部）



10月

21日 三郷公民館・文化産業展（生活産業部）

22日 三郷公民館・文化産業展（生活産業部）

22日 三郷市民運動会（体育部）



7月

16日 ワンバウンドふらば～るバレーボール大会（体育部）

30日 盆踊り講習会（文化部）



11月

4日 三郷公民館・芸能発表会（文化部）

5日 女性学級教室（女性部）

19日 人権講習会（総務）



8月

14日 夏祭り盆踊り大会（文化部）

20日 夏季公民館対抗スポーツ大会（体育部）



12月

10日 しめ縄作り講習会（生活産業部）



1月・2月

1月21日 卓球大会（体育部）

2月18日 冬季公民館対抗スポーツ大会（体育部）



詳細案内と募集は、回覧板でご連絡いたします。

公民館三役

公民館長	三澤祐司	3-1
副公民館長	小笠原英行	1-6
主事	宮坂隆二	7-2

文化部

部長	林 文子	7-4
副部長	奥山 悟	4-2
副部長	井上智裕	1-11

体育部

部長	柴田正文	8-3
副部長	牛越克子	1-7
副部長	宮下恵子	4-5

生活産業部

部長	丸山育子	4-1
副部長	逸見直則	2-4
副部長	逸見麻紀	5-3

女性部

部長	市川登美恵	1-4
副部長	丹間あゆみ	3-10
副部長	黒岩 愛	7-5

学びの輪

会員募集
例会情報

七日市場地区 サークル活動のご案内

～～ いっしょに学びと交流の輪を広げましょう！ ～～

交流の輪

芸術・文化・交流

スポーツ・交流

グループ名	例会	会場	人数	連絡先(代表者 電話)	そのほか
みやび会	総会 3月.(役員の選出) 敬老の日の祝賀会 9月	コミュニティセンター他	70名	松尾 栄 77-5346	親睦旅行年2回(春・秋)、マレットゴルフ大会、教養講座講演会、他との交流会、社会奉仕活動
大正琴	毎月 第2第4 火曜日 (PM1:30～PM3:30)	コミュニティセンター	4名	三澤えみ子 77-3338	老人クラブと共にボランティアに参加
詩吟の会	毎週 水曜日 (PM7:30～PM9:30)	コミュニティセンター	4名	丸山孝雄 77-5323	昭和60年3月 詩吟のサークルとして誕生、芸能発表会、毎年参加
七日市場踊りの会 (三郷音頭保存会)	毎週 火曜日 PM8:00～	三郷公民館	3名	丸山晴子 77-5328	あづみの里夏祭り、三郷芸能発表会、ふるさと夏祭り参加
七日市場安曇盆唄保存会	年間を通して数回の会合 と練習	コミュニティセンター	41名	松尾守良 77-5341	市老連芸能発表会出演、 公民館夏祭り参加
七日市場の歴史を学ぶ会	月に1回ほど	コミュニティセンター 現場	47名	丸山政憲 77-5266	歴史学習会、研修旅行、涅槃会、神社例祭時の活動参加、地区生徒会の学習支援
祭りばやし保存会	毎月 第3土曜日 PM7:30～	七日市場諏訪神社	55名	三澤鑛一 77-5259	4月例祭、宵祭、本祭・8月夏祭りに参加
七日市場コーラス	月2回 第2第4金曜日 PM8:00～PM9:30	コミュニティセンター (多目的ホール)	18名	高橋美恵子 77-8507	みさとふれあいコンサート、春・夏祭り(パルンアート)参加、ボランティア活動として公民館の花壇の手入れ 他
家庭婦人バレーボール (バレーボール)	月1～2回練習 PM7:30～PM9:30	小学校第二体育館	4名	近藤加文 77-8559	リーグ戦 全9試合&審判、ゆりの木杯、三郷友好都市スポーツ交流会(予定)、新春バレーボール大会
ナイターソフトボール (ソフトボール)	月4～5回 PM7:00～ PM9:30 4月中旬～9月下旬	文化公園グラウンド 小倉グラウンド	23名	斉藤洋二郎 77-8513	リーグ戦 全17試合、審判数試合(週に1回程度)慰労会・忘年会など楽しい飲み会もあります。(夏季スポーツ大会参戦)
七卓同好会 (卓球)	毎月第1 第3 第5(7月・ 9月)金曜日 PM8:00～ PM9:00	コミュニティセンター 2F	12名	三澤 博 77-5294	親睦を図り健全なるスポーツとしての活動
マレットゴルフ愛好会	大会(不定期)の参加	七日市場公園	15名	松尾 栄 77-5346	公園の整備と清掃、暑気払い、忘年会あり
ゴルフ同好会	年4回 4月・6月・8月・10月	豊科カントリークラブ他	24名	大工原征則 77-5722	コンペ、市民ゴルフ大会反省会、懇親会
ピンフクラブ	年12回第1土曜日 10:00～12:00	コミュニティセンター	7名	三沢いちゑ 77-5297	認知症予防・頭の体操・ 笑顔作り

「七日市場公民館ホームページ」へようこそ

七日市場地区の皆さん、七日市場公民館にホームページがあることをご存知ですか？

当公民館では4年前にホームページを開設し、各専門部の活動状況などを紹介しています。また、公民館報「ふれあいなのかいち」のカラー版を掲載するとともに、公民館報に連載の「七日市場の歴史」については、初回から最新号までをすべて閲覧することができます。

本年度のホームページは、各専門部の活動を画像とともにタイムリーにお伝えするとともに、地区の皆さまからの投稿やコメントをできるだけ多く掲載していく予定です。

ホームページへのアクセスや投稿は簡単です。パソコンやスマホでURL「<http://nanokaichiba.wakwak.info/wordpress/>」を直接入力するか「安曇野市七日市場地区公民館ホームページ」を検索してください。ホームページを通じて「ふれあいなのかいち」を実践していきましょう。《七日市場地区公民館ホームページ事務局》

安曇野市七日市場地区公民館ホームページ

七日市場地区公民館の広報・交流サイトです。



ホーム
お問い合わせ&投稿
サイトの利用について
プライバシーポリシー

第1回女性学級「太極拳教室」

投稿日: 2017年6月1日 作成者: admin-nanokaichiba

5月28日、第1回女性学級「太極拳教室」が開催されました。今年も心と身体がリフレッシュできました。《女性部》



七日市場地区公民館ホームページ内を検索します。

最近の投稿

- ・ 第1回女性学級「太極拳教室」
- ・ 新助産師会
- ・ 平成28年度公民館事業完了しました
- ・ 冬季公民館対抗スポーツ大会
- ・ 公民館報「ふれあいなのかいち No.44」を掲載します

「七日市場の歴史(第四十回)」

昭和後期の七日市場⑤

曾根原 孝和

(ごみ焼却場の問題つづき)

反対運動活発に 十二月十二日、三地区の共闘会議は、建設予定地堤防上で反対集会を開きました。この時は、反対者は堤防上で「生命を売るな」「絶対阻止」などのプラカードを掲げてデモ行進をしました。



写真6-5 反対のデモをする住民 (昭和51年12月13日・信濃毎日新聞)

『三郷村誌』より

年を越した五十二年一月二十八日、建設省千曲川工事事務所は、建設予定地の築堤工事を始めようとした。しかし、三地区共闘会議の実力阻止にあい、工事は延期されました。調停団が仲介に このような両者の対立を

みて、時の耳塚・北沢両県議員と上條豊科町長が混乱を打開しようと調停に入りました。調停の内容は「西部ごみ焼却場の建設と切り離して、築堤工事を進める」ということで、四月二日、西部環境組合と三地区共闘会議の間で協定書が取り交わされました。

堤は完成したが 調停により建設省千曲川事務所は、四月三十日築堤工事を始め、九月末で完成させました。調停団の仲介により西部環境組合と三地区の共闘会議の話し合いは再開されました。しかし、以後、五十五年七月三日まで、六回話し合いが行われましたが、両者の見解は平行線で進展はありませんでした。この間、梓川花見地区に適当な場所があるということ、説明会を開きましたが、隣接地区の反対で断念し氷室地区に戻りました。

村でも対策会議を 村では五十六年四月二十日、三郷村ごみ対策研究会議を発足させ、ごみ埋設地の期限切れもあり、収集ごみの処理などの打開策の研究を行いました。その後、村内でも上長尾・東小倉・楡・北小倉などの予定地を探しましたが見つからず、六十三年一月、ごみ焼却場の問題は終息しました。

編集後記

平成二十九年度も新しい専門部員となり公民館活動も本格的な取り組みが始まりました。毎年ですが公民館報「ふれあい・なのかいち」四十五号も編集委員の力添えがあり無事に発行する運びとなりました。新規に編集委員になられた各専門部の方々とはボランティアでもアイデアを提供して下さる皆様には今年もよろしく願っています。

さて、年度当初の活動として五月に女性部による「女性学級」、六月には体育部の「マレットゴルフ大会」、文化部の「敬老会」などの事業が開催され、いずれも記事として掲載する事ができました。公民館の活動の広報として公民館報がお役に立てればと考えております。

今後も公民館報が七日市場地区の皆様にしんで読んでいただけるよう編集委員一同、頑張りますのでよろしく願っています。

主事 宮坂

七日市場地区公民館報 ふれあい なのかいち

Vol.16 No.1 第45号 2017年7月16日

【発行所】 七日市場地区公民館

【発行人】 三澤 祐司

【監修】 小笠原 英行

【編集人】 宮坂 隆二

【編集委員】

奥山 悟 (文化部)

牛越 克子 (体育部)

逸見 直則 (生活産業部)

丹間 あゆみ (女性部)

木船 章 (ボランティア)

花岡 正明 (ボランティア)

松尾 常德 (ボランティア)

丸山 博幸 (ボランティア)

【HP監修】 松尾 学 (ボランティア)



ふれあい なのかいち



夏祭り・盆踊り大会

文化部長 林 文字

八月十四日、諏訪神社境内にて「夏祭り・盆踊り大会」が開催されました。連日の天候不良、当日の雨の予報で開催できるか心配しましたが、最後まで予定通り行うことができ、ほっといたしました。

暗い中、ライトで照らされた境内での祭りばやし、金魚すくいや綿あめなど、参加された方は夏の祭りの雰囲気を感じ、楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



夏祭り・盆踊り大会【2017年8月14日】

また、事前に行われた「盆踊り講習会」に参加された子供さんも一緒に舞台の上で踊ってくれ、盆踊りもとても活気のある華やかなものになりました。

お祭りが無事に成功したのは、協力していただいた団体、三役、部員の皆様など、多くの方々のおかげです。ありがとうございました。

夏祭りを通じて、季節を感じ、自分たちの住む郷土を感じ、人との繋がりを感じました。この行事が末永く続くことを願います。



七日市場地区公民館ホームページもご利用ください!!

<http://nanokaichiba.wakwak.info/wordpress/>

「軽スポーツ大会に参加して」

一・四 小原 隆雄

今年は種目がワンバウンドバレーボールになり、ルールやボールの形が変わって、最初は戸惑いましたが、ボールが卵形で床からの跳ね返りが予測とずれることもあり段々面白くなりました。役員の方の注意もあって、アキレス腱を切らないよう楽しんで試合をしました。

一・四組は動きとチームワークの良さで四試合を勝ち抜き、優勝することができました。また、この日は夕方から組の納涼会があり、おいしい生ビールを飲むことができました。



軽スポーツ大会（体育部）
【2017年7月16日】

軽スポーツ大会の対戦結果



【準優勝 Bチーム】



【優勝 Aチーム】



【第3位 Dチーム】

「生活に役立つセミナー」

二・四 逸見 直則

今回のセミナーは昨年と同様の安曇野市の出前講座より『成年後見制度』についての講座を受講しました。

市の担当の方より、昨今は三郷地区でも高齢化が進み高齢者が一人暮らしの家庭も増えているとのことでした。そんな中、成年後見制度を十分に活用し大切な財産を守り、今の生活水準を維持する制度だと学ぶことが出来ました。手続きも簡略化が進んでいるとのことでしたので、将来にかけて活用したいと思いました。



生活に役立つセミナー（生活産業部）
【2017年9月10日】

夏季スポーツ大会で躍動！(八月二十日) 参加サークル紹介

「七日市場ナイターソフトボール」

代表(三・十組) 齋藤 洋二郎

- ① 安曇野市三郷ソフトボール連盟に「七日市場」として参戦
 - ② 三郷地区十七チームによる総当たり戦にて順位を決定
 - ③ 試合期間は四月〜十一月、試合十六試合と八試合程度の審判担当
 - ④ 「参加資格」三郷在住の四十歳以上の男性と十八歳以上の女性
 - ⑤ 現在の登録選手は二十三名
 - ⑥ 昨年成績 八勝七敗一分 十位
- 【その他】四月..開幕前の練習&飲み会
六月..飲み会/八月..焼肉大会/十二月..忘年会
- ※加入者絶賛募集中!



ソフトボール



ソフト軍団 全員集合!

「三郷家庭婦人バレーボール連盟」

(ママさんバレー)

代表(六・一組) 近藤 加文

- ☆四月〜九月 リーグ戦
 - ☆月一回〜二回 練習
 - ☆一月 新春バレーボール大会
 - ☆七月 ゆりの木杯参加
 - ☆年二回程度 親睦会
- ※現在、部員数が少なく、チーム編成が難しい為、一日市場のチームと合同でチーム編成しています。
- ぜひ、新規の入部を募集します。経験、未経験は問いませんので、ぜひ楽しく一緒にバレーボールを通してコミュニケーションを図りましょう。



ソフトバレー

【体育部よりご連絡】

夏季スポーツ大会の参加にあたり、ご協力いただきましたサークル活動の皆様及び、声かけで快く参加頂いた皆様には大変感謝いたします。なお、体育部事業におきましては「人集め」に大変苦労しております。「やってみたら楽しかった」という声があります。ぜひ地域の皆様の参加をお願いします。

【公民館報第45号の訂正】

6 ページ、サークル活動のご案内 ピンクラブの例会欄 (誤) 10:00~12:00 (正) 13:00~16:00

「七日市場の歴史(第四十一回)」

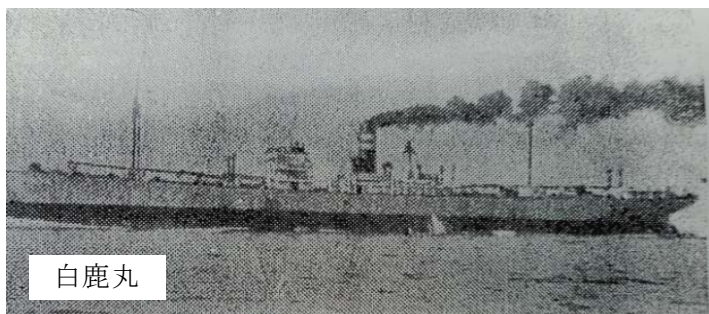
続 昭和期の七日市場①

曾根原 孝和

太平洋戦争から この頃「七日市場の歴史を学ぶ会」では、戦争から学ぶをテーマに、戦没者の事実を基に学習しました。七日市場の戦没者は、『三郷村誌Ⅱ』等からは現在十八名です。今回はその内の四名について学びました。一名の宮坂靖夫さんは、第二十四回(第二十九号)に記しましたので、他の三名を紹介します。はじめに丸山さんです。

比島での丸山さん 二十三歳の丸山峰男さんは、陸軍航空隊の気象部に属し、三重県から比島に移動しました。昭和十九年六月に伊勢を出発、門司、台湾を経て七月マニラ港に着きました。そして、十月十七日「白鹿丸」(八一五二総トン)に、丸山さんら気象部約一六五人を含む、約三千八百人が乗船してサイゴンに向かいました。マニラが空襲必至の報により、九隻の船団を組み出航したのです。この時は、すでに制海・制空権ともに敵の手中にあり、船団は敵の魚雷

の集中攻撃を受けました。「白鹿丸」は機関部に魚雷2発を受け、南方軍気象部は一名即死。その後、乗組員はボート、いかだに乗り避難をしますが、豪雨のため波が高く、運航は難航し、日没後「白鹿丸」は沈没。この時の生存者は二人で、気象部は三人と言われます。丸山さんはこの時に若くして戦没されました。家への便りから 丸山さんは長男で、三人の弟がいました。「父さんに無理をさせないように働くことだね」と伝え、次弟の愛人さん宛てには「仕事と同時に勉強も頑張ってください」と励ましています。父宛てには「夏蚕に秋蚕に忙しい事と存じます。本年の作物の状態は如何ですか」と、収穫を気遣う家族への思いが記されています。なお、三重を発つ時、遺髪・爪を送ったと思われる封筒があり、死を覚悟して出発したことが伺えます。



白鹿丸

編集後記

最近のテレビを見てみると、政治家の不祥事や、北朝鮮のミサイル発射、又、核実験が行われたという放送が毎日のように流れています。それにしてもJアラートという聞き慣れない言葉が現実が発動され「これはどう言う事がおきているのか」と目を疑うばかりです。平和ボケをしているのと一部の評論家が言っていた事もはや空論でない証明がそろそろ現実味をおびてきているのかと少々気がかりにもなります。

さて、公民館報も発行から十一年目、第四十六号を発行するにあたり、記事掲載にご協力していただいた皆様に感謝申し上げます。平成二十九年度も半期が過ぎ、各専門部の事業も無事に終わり、いよいよ後半の行事日程にうつっていきます。

十月には市民運動会、十一月には女性学級と人権講習会、十二月はしめ縄作りと行事が控えています。皆様に引き続き親しんでいただける公民館報作りに努めたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

主事 宮坂

七日市場地区公民館報 ふれあい なのかいち

Vol.16 No.2 第46号 2017年10月16日

【発行所】 七日市場地区公民館

【発行人】 三澤 祐司

【監修】 小笠原 英行

【編集人】 宮坂 隆二

【編集委員】

奥山 悟 (文化部)

牛越 克子 (体育部)

逸見 直則 (生活産業部)

丹間 あゆみ (女性部)

木船 章 (ボランティア)

花岡 正明 (ボランティア)

松尾 常德 (ボランティア)

丸山 博幸 (ボランティア)

【HP監修】 松尾 学 (ボランティア)



ふれあい' なのかいち



防災意識の向上を

昨年は熊本地震、鳥取西部地震が発生し、本年は大型台風等の豪雨による災害で、九州をはじめ日本全土で甚大な被害が出たことは記憶に新しいところです。

ここ安曇野でも、今後三十年以内にマグニチュード七・六程度の地震が起きる確立が十三〜三十%と予測されています。



七日市場区防災訓練
【2017年11月19日】

自主防災会本部長 平林 敬史

このため、七日市場では九月三十日に「防災に関する出前講座」を、そして十一月十九日には「七日市場区防災訓練」を実施し、隣組単位で各家庭の人員等を把握するための「安否確認票」を作成するなど、新たな試みをおこないました。更に二月二十五日には、初めて「地震体験車による体験」を予定していますので、是非参加してください。

皆さんは、自助（個人）・共助（地域）・公助（行政）という言葉をよく耳にするかと思いますが、災害はいつ起こるかわかりません。「誰かが何とかしてくれるだろう」という受身の考えは改め、自分でできることは自分です。そして常日頃から隣近所の皆さんとコミュニケーションを図り、「助け合い支え合い」の関係を築いていただき、災害が発生した際には進んで周りの人達と連携して対応ができるよう、防災に関する意識改革を図っていただきたいと思います。強く願っています。

七日市場地区公民館ホームページもご利用ください！！

<http://nanokaichiba.wakwak.info/wordpress/>

「しめ縄講習会」

五・三 逸見 麻紀

今回、初めてしめ縄講習会に参加しました。子供からお年寄りまで大勢の方が参加されていました。

いざ作り始めると、簡単そうに見えてなかなか難しく、講師の方や上手な方に手伝ってもらいながら何とか形になりました。

講習会資料によりますと、「しめ飾り」は各地で少しずつ違いがあり、昔は正月の用



しめ縄講習会（生活産業部）
【2017年12月10日】



意としてすす払い、しめ縄作り、餅つき、正月料理など家族全員で年神様を迎える準備をしたそうです。

今の時代では「しめ縄」も買えば簡単に用意できますが、手作りすることで「もうすぐ新年を迎えるのだな」という気持ちになりました。

これからも、地区の皆さんが参加できるこのような行事が続いてほしいと思います。

「フラワーアレンジメント」

三・十 五十嵐 ひろ子

綺麗な花に出会える楽しさで参加しました。花の茎やリボンにワイヤーをつけ、オアシスに刺す為の軸作りが中心で、手先の器用さと先生の話をよく聞く事が要求され、ポーツとしていた脳が急に空回りしながら動き出しました。完成すると大輪の赤いバラと優しい淡い花が可愛く、心が和みます。一人では中々作れない物が、教室のお陰で楽しく作る事ができました。機会があったら又、参加したいと思います。



プリザーブド・フラワー教室（女性部）
【2017年11月5日】

笑顔咲く、三九郎

三郷小学校 六年二組 丸山 莉央

「熱い！」 私はそう思いながらやぐらに火をつけた。バチバチと松が燃え、だるまや習字も燃えていく。やぐらの火がおさまってきたところで、まゆ玉を焼き始めた。焼きたてのまゆ玉は、もちもちしていて、ほんのり甘くてとてもおいしかった。まゆ玉のあとに焼いたマシユマロは少しこげてしまったりしたけれど、とてもおいしくできあがった。地区長として、三九郎が無事におわり、本当によかったと思った。



三九郎（育成会）
【2018年1月7日】

『人権』を考える講演会開催

人権教育推進委員 三澤 祐司

安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき人権教育指導員の曾根原先生より『思いやりを考える』をテーマに講演がありました。

「演題」は次の三題です。

一、このごろの出来事から。

二、哲学者、務台理先生の考え、生き方、言葉から。（務台先生は野沢に生まれ、三郷

小中学校の校歌の作詞者です）

三、八木重吉、金子みすゞの詩に表されたこ

ころから。

多くの方々の参加で真剣に「人権」に向き合える貴重な時間を持つことができました。

【参加者の感想】

- ・ この時代でも、面識のない人間に対して親切に接してくれる人もいるのだなと思っ
- ・ た。（田舎なのか、その人の人間性なのか）
- ・ 「人は一人では生きていけない」とよく言いますが、それと同じで自分一人が幸せでも何も良いことはなく、相手も幸せであることが大切ということ聞き、私の普段の生活を見直してみても、反省する点がありました。
- ・ 講演を聞き、三郷小中学校の校歌が心に響く理由が分かりました。
- ・ 小中学校の時の校歌をとても懐かしく、いい詩なので思い出しました。
- ・ 八木重吉、金子みすゞの詩は短命ゆえに心に訴えかけるものがあると感じた。
- ・ せっかくなので紹介していただいたので、家で調べてみようと思います。



人権講演会（総務）
【2017年11月19日】

「七日市場の歴史(第四十二回)」

続 昭和期の七日市場③

曾根原 孝和

「戦争から学ぶ」の二回目です。

航空科に入る萩原さん 萩原國治さんは、昭和十一年三月長野県蚕業試験場松本支場を卒業して、同支場で後輩を熱心に指導してました。そして、二十二歳の昭和十五年一月横須賀海兵団の航空科に志願して入りました。航空科に入って十カ月程の十一月二十日、兄龍弥さん宛てに次の葉書を出しています。(要旨)

- ・ 激励の手紙有難く拝見。
 - ・ 軍人として立志したので、如何なる困難にも打勝つて、初志貫徹に邁進する覚悟。
 - ・ 兄弟三人の分までの責任は大。兄上の御恩に報いる唯一のチャンス。
 - ・ 身は如何に海底の藻屑と化しても大君の為ならば最大の名誉、喜び勇んで働ける。
 - ・ 順調にいけば神様として九段の花とも咲くことが出来る。
 - ・ あゝ我最大の幸福なり。(後略)
- きちんとした字で書かれた葉書から、萩原さんが軍人として志し、覚悟をもって真剣に日々

の訓練に取り組んでいることが伺えます。「海底の藻屑と化しても大君の為なら最大の名誉、喜び勇んで働ける」ともあり、戦いに向かう



訓練の一場面

若い純粋な気持ちに打たれます。

千島列島で戦死を 萩原さんは、十七年に千島列島に移動しました。この時、自分が操縦する飛行機で、生家や豊科(細萱)にある母親の実家等の上空を旋回しました。いよいよ戦地への気持ちで家族等に別れを告げたのです。そして、十九年八月二日二十六歳で戦死します。戦死の詳しい場所や様子は不明で、二十一年二月に届いた白木の箱には、英霊とだけが記されていました。

学習会で資料や写真を使って説明された甥の秀彌さんが、「きょうはいい供養の場にもなりました」と言われたことが心にしみました。

編集後記

日本は四季がはっきりしていて、その時々々の季節の移る変わりが魅力的だと思いますが、冬の寒さが苦手な私にとって、この時期は早く通り過ぎてほしいものだと思っています。今日この頃です。

さて、平成二十九年度も残すところ二ヶ月足らずとなりました。公民館活動も本年度の各部の行事がほぼ終了し多くの方々の参加、ご協力をいただくことができましたことを感謝申し上げます。

公民館役員になって二年間、多くの行事に携わり地域の皆さんと一緒に楽しく過ごすごとができました。この「ふれあい・なのかいち」も公民館活動の情報の一環として発信してまいりましたが、今後もより良い館報作り編集委員一同頑張っていく所存ですのでよろしくお願いいたします。

主事 宮坂

七日市場地区公民館報 ふれあい なのかいち

Vol.16 No.3 第47号 2018年2月18日

【発行所】 七日市場地区公民館

【発行人】 三澤 祐司

【監修】 小笠原 英行

【編集人】 宮坂 隆二

【編集委員】

奥山 悟 (文化部)

牛越 克子 (体育部)

逸見 直則 (生活産業部)

丹間 あゆみ (女性部)

木船 章 (ボランティア)

花岡 正明 (ボランティア)

松尾 常德 (ボランティア)

丸山 博幸 (ボランティア)

【HP監修】 松尾 学 (ボランティア)